

D. 考察

今回のアンケート調査において以下の点が明らかとなった。1) 介護老人保健施設（以下、老健施設）において 6 割ほどの高齢者が摂食嚥下機能低下を主訴としていること、ならびに摂食嚥下障害の疑い症例も入れるとその割合は 94%にのぼっていたこと、2) 紹介先となっているのは医科病院が主となっていたが、3 割近い老健施設においてフォロー可能な紹介先がないと回答していたこと、であった。これらの結果から、該当する患者がいてもシームレスな連携体制が整っておらず、十分機能しているとはいえない実態が示唆された。また、病院 SW へのアンケート調査結果と異なっていた点は、病院では訪問看護センターへの紹介先が 4 割近いと回答していたのに対し、老健施設では 17%程度であり、約半分となっていた。さらに医科診療所への紹介も病院での場合の 4 割であった。老健施設からの紹介先については医科診療所、歯科診療所を問わず実質的な連携があまり進んでいない実態を示唆している。

また、地域での多職種連携について（自由記載で）聞いたところ、施設内では ST や看護師等との連携がみられたが、シームレスな医療連携の構築といった視点で、地域包括ケアネットワーク等を活用した連携については散見される程度であった。つまり、施設完結型の連携とどまっているケースが多いことが示唆された。

一方、施設内に ST がいないケースもみられ、そういった場合に看護師、栄養士、リハ担当者が対応している場合もあり、こういった場面で歯科医師が積極的に係われていない点も今後の課題かもしれない。

さらに、現在フォロー可能な紹介先が『ない』と回答した病院において、35%の施設において今後も必要としていないと答えていた。これは何を意味するのか、今回にアンケート調査では踏み込んだ質問を行っていないため詳細は不明であるが、さらなる聞き取りが必要と思われる。

今回実施したアンケート調査の課題はアンケートの回答率が低かった点である。47 都道府県における

回答率の平均は 7.5%であり、回答率の地域差が大きかった。10%以上の回答率が得られたのは全体の17%であり、0%や1%未満も数県みられた。この背景には今回のアンケート調査の意義を丁寧に説明するとともに調査協力の周知方法の工夫が必要かもしれない。

E. 結論

介護老人保健施設を対象としたアンケート調査を実施し、289 件の回答（回答率 7.5%）が得られた。その結果、摂食嚥下障害（疑いも含む）を有する高齢者は 9 割以上みられるにもかかわらず、3 割の施設において紹介先を有していないことがわかった。一方で、連携体制ができていない施設でも 35%は紹介先を求めている実態も明らかになったことから、今後、さらに回答数を増やすとともに問題点の抽出ならびに解決策の検討が求められる。

F. 健康危険情報

現在のところ報告すべき情報はない。

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表（学会以外の講演会も含む）

1. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第 3 回大分県病院協会栄養部会研修会, ホルトホール, 大分市, 大分県, 2015 年 2 月 28 日
2. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 小田原市保健センター, 小田原市歯科医師会, 小田原市, 神奈川県, 2015 年 2 月 26 日
3. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第 23 回茨城県歯科医学会, 茨城県歯科医師会, 水戸プラザホテル, 水戸市, 茨城県, 2015 年 2 月 22 日
4. Haruka Tohara: Oral Rehabilitation for Dentist, Rehabilitation in swallowing disorders seminar, Dental hospital, Khon Kaen University, Khon Kaen city, Thailand, Feb 18, 2015
5. 戸原玄:口腔ケアや訓練的対応を踏まえた評価の仕方, 嚥下機能評価研修会, 第 9 回 PDN VE セミナー, NPO 法人 PEG ドクターズネットワーク, 石川県地場産業振興センター, 金沢市, 石川県, 2015 年 2 月 15 日
6. 戸原玄:摂食・嚥下障害のアセスメント, 在宅歯科医療推進事業研修会, 熊本県歯科医師会, 熊本歯科衛生士専門学校, 熊本市, 熊本県, 2015 年 2 月 7 日
7. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 広島県歯科医師会館, 広島市, 広島県, 2015 年 1 月 30 日
8. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, メディケアフーズ展 2015, 東京ビッグサイト, 江東区, 東京都, 2015 年 1 月 29 日
9. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 高齢者の食支援を考える会 設立1周年記念摂食嚥下講演会, 高齢者の食支援を考える会・所沢市歯科医師会 食支援ネットワーク委員会, 所沢市保健センター, 所沢市, 埼玉県, 2015 年 1 月 22 日
10. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第 1 回東海摂食栄養フォーラム, 東海HEI和マニア, 今池ガスビル, 名古屋市, 愛知県, 2015 年 1 月 17 日
11. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 平成 26 年度第 2 回摂食嚥下障害支援歯科医師養成研修会, 岐阜県歯科医師会, 岐阜県歯科医師会館, 岐阜市, 岐阜県, 2015 年 1 月 11 日
12. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 平成 26 年度摂食・嚥下・食支援人材育成研修会, 鹿児島県歯科医師会, 鹿児島県歯科医師会館, 大島郡医師会館(サテライト会場), 鹿児島市, 鹿児島県, 2014 年 12 月 21 日
13. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第 6 回高知口腔ケアフォーラムーがん治療をささえる口腔ケアー, 特別講演, 高知大学医学部臨床講義棟第 3 講義室, 南国市, 高知県, 2014 年 12 月 13 日
14. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 摂食嚥下セミナー2014, 岩手医科大学, 盛岡市, 岩手県, 2014 年 12 月 9 日
15. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 医科歯科連携研究会 2014, 東京保険医協会・東京歯科保険医協会・千葉県保険医協会, 東京保険医協会セミナールーム, 新宿区, 東京都, 2014 年 12 月 6 日
16. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 富士見会, 愛媛県歯科医師会館, 松山市, 愛媛県, 2014 年 11 月 29 日

17. 戸原玄:摂食・嚥下のアセスメント, 嚥下内視鏡検査実技・実習コースアドバンスコース, NPO 法人 歯科医療情報推進機構, 新宿 NSビル, 新宿区, 東京都, 2014 年 11 月 20 日
18. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際ー在宅での対応を考えるー, 歯科学術研究会, 三重県保険医協会, プラザ洞津, 津市, 三重県, 2014 年 11 月 9 日
19. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 愛豊歯科医師会, 東京第一ホテル錦, 名古屋市, 愛知県, 2014 年 11 月 6 日
20. 戸原玄:在宅医療におけるチームアプローチの重要性ー医療連携に基づく基礎知識の整理も含めてー, 平成 26 年度予防・在宅歯科医療等対応教員養成校集会歯科衛生士専任教員講習会 V, 日本歯科大学東京短期大学, 千代田区, 東京都, 2014 年 10 月 25 日
21. 戸原玄:口腔ケアや訓練的対応を踏まえた評価の仕方, 嚥下機能評価研修会・第 4 回 PDN VE セミナー, NPO 法人 PEG ドクターズネットワーク, 仙台国際センター, 仙台市, 宮城県, 2014 年 10 月 12 日
22. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 口腔ケアと摂食嚥下リハビリテーションの基礎から実際, 第 15 回 NHO 栃木医療センター口腔ケア兼摂食嚥下セミナー, NHP 栃木医療センター地域医療研修センター講堂, NHO 栃木医療センター, 宇都宮市, 栃木県, 2014 年 9 月 30 日
23. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際ー地域を考えた摂食嚥下障害への対応ー, 緩和ケアチーム, NST 共催第 10 回東京医科歯科大学 NST セミナー, 鈴木彰男記念講堂, 東京医科歯科大学, 文京区, 東京都, 2014 年 9 月 26 日
24. 戸原玄:より良く食べてよりよく生きる, 嚥下障害に係る市民公開講座, 岡谷病院, 岡谷市カノラホール, 岡谷市, 長野県, 2014 年 8 月 23 日
25. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, NST 口腔嚥下・歯科口腔外科特別講演, 信州大学医学部歯科口腔外科学, 信州大学医学部附属病院, 松本市, 長野県, 2014 年 8 月 22 日
26. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第4分科会高齢期の生き生きとした食生活, 健康生きがい学会 第 5 回大会, 弘前医療福祉大学, 弘前市, 青森県, 2014 年 8 月 6 日
27. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 藤枝歯科医師会講演, 藤枝市, 静岡県, 2014 年 7 月 17 日
28. 戸原玄:より良く食べてよりよく生きる, 藤枝市市民公開講座, 藤枝歯科医師会, 藤枝市, 静岡県, 2014 年 7 月 17 日
29. 戸原玄:摂食・嚥下のアセスメント, 青森県歯科衛生士会平成 26 年度第 2 回生涯研修, 青森県歯科衛生士会, 青森刊行物産館アスパム, 青森市, 青森県, 2014 年 7 月 13 日
30. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 在宅歯科医療連携推進研修会, 富山県歯科医師会, 富山国際会議場, 富山市, 富山県, 2014 年 7 月 10 日
31. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 口腔病学会例会, 東京医科歯科大学歯学部附属病院特別講堂, 文京区, 東京都, 2014 年 7 月 3 日
32. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第 1 回明正会多職種地域交流セミナー, 医療法人社団明正会, 亀戸文化センター, 江東区, 東京都, 2014 年 7 月 2 日

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

軽度嚥下障害者に対する嚥下機能評価表作成

担当責任者

矢澤正人 東京都新宿区健康部 参事
秋山正子 白十字訪問看護ステーション 所長
植田耕一郎 日本大学歯学部摂食機能療法学講座 教授

研究要旨

加齢等による摂食嚥下障害発現のリスクを早期に発見し、介入するための摂食嚥下機能評価表を作成した。作成したチェックシートにより、嚥下機能の低下をスクリーニングすることで、予防的な取り組みを行うことにつながると考えられた。さらに、都内区部において、地域として生涯、安全に美味しく食事が摂れるための摂食嚥下機能支援体制を構築し、軽度摂食嚥下障害者に早期介入する行政の仕組みを検討した。

A. 研究目的

摂食嚥下障害は、重度化した場合、摂食嚥下リハビリテーションを実施しても、治癒する可能性は必ずしも高くない。生涯、地域で安心して食事が摂れるためには、早期に摂食嚥下障害のリスクを判定し、適切な指導、ケア、医療に結びつけることで重度化を予防する必要がある、そのための摂食嚥下機能評価表を作成した。

B. 研究方法

大熊ら（日本摂食嚥下リハビリテーション学会会誌：2002）の開発した摂食嚥下機能評価表を参考として、区内で用いるための検診表を作成した。

（倫理面への配慮）

尚、当該研究においては地域をつなぐことが目的であり、患者データをとるものではないが、東京医科歯科大学歯学部倫理審査委員会に審査をかけたところ、倫理審査不要との通知を受けている（受付番号1168番）。

C. 研究結果

軽度摂食嚥下障害者向けの検診表の作成にいたった（スライド1）。

D. 考察

新宿区としては、地域の摂食嚥下障害者に対する対策を、区高齢者保健福祉計画に記載し、行政計画として、地域でのシステムづくりに取り組んでいる（スライド2）。まずは摂食嚥下機能評価表（飲みこみチェックシート）を用いて実際に早期から予防的に介入するプログラムの必要性を推測するとともに、地域で摂食嚥下障害を持つ患者を支える仕組みづくりに取り組んでいきたい。

E. 結論

軽度摂食嚥下障害者向けの評価表が作成できた。

F. 健康危険情報

現在のところ報告すべき情報はない。

G. 研究発表

1. 論文発表

1. 矢澤正人：新宿ごっくんプロジェクトー地域における摂食嚥下機能支援システムの構築に向けて,Journal of Clinical Rehabilitation, Vol.23, No.9, 2014.9

2. 学会発表

1. 矢澤正人、他：行政主導による摂食・嚥下機能支援体制の構築に向けて（2）ー多職種連携の推進を目的としたグループワーク型研修の実施についてー、日本摂食嚥下リハビリテーション学会第19回学術大会, 2013

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

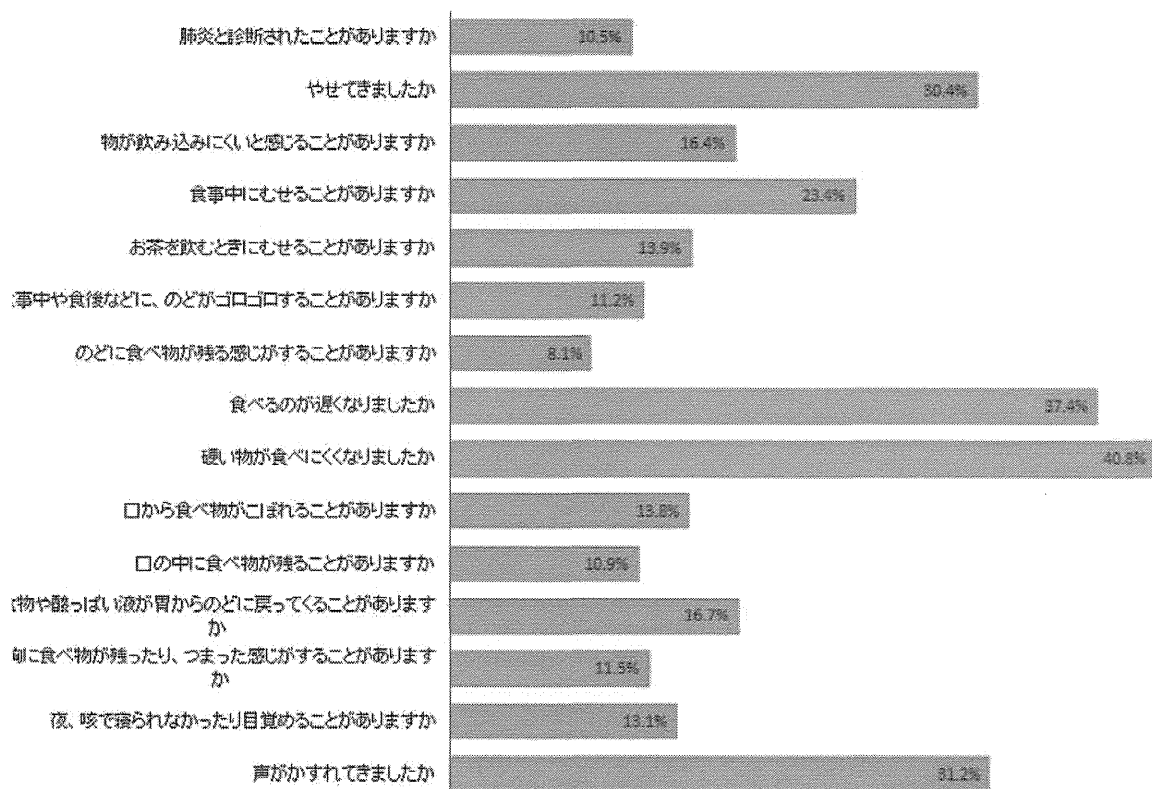
| ツール① 飲みこみチェックシート Ver.1 | | | 新宿区 | | | |
|---|----|----|-----|---------|---------|---|
| | | 平成 | 年 | 月 | 日 | 作成 |
| 氏名 | | 年齢 | 歳 | 男 | 女 | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;"> Aが1つでもあったら医師等に相談しましょう。 </div> |
| 身長 | cm | 体重 | kg | | | |
| 1 肺炎と診断されたことがありますか？ | | | | A. 繰り返す | B. 一度だけ | C. なし |
| 2 やせてきましたか？ | | | | A. 明らかに | B. わずかに | C. なし |
| 3 物が飲み込みにくいと感ずることがありますか？ | | | | A. しばしば | B. ときどき | C. なし |
| 4 食事中にむせることがありますか？ | | | | A. しばしば | B. ときどき | C. なし |
| 5 お茶を飲むときにむせることがありますか？ | | | | A. しばしば | B. ときどき | C. なし |
| 6 食事中や食後、それ以外の時にもものどがゴロゴロ（たんがからんだ感じ）することがありますか？ | | | | A. しばしば | B. ときどき | C. なし |
| 7 のどに食べ物が残る感じがすることがありますか？ | | | | A. しばしば | B. ときどき | C. なし |
| 8 食べるのが遅くなりましたか？ | | | | A. たいへん | B. わずかに | C. なし |
| 9 硬いものが食べにくくなりましたか？ | | | | A. たいへん | B. わずかに | C. なし |
| 10 口から食べ物がこぼれることがありますか？ | | | | A. しばしば | B. ときどき | C. なし |
| 11 口の中に食べ物が残ることがありますか？ | | | | A. しばしば | B. ときどき | C. なし |
| 12 食物や酸っぱい液が胃からのどに戻ってくることがありますか？ | | | | A. しばしば | B. ときどき | C. なし |
| 13 胸に食べ物が残ったり、つまった感じがすることがありますか？ | | | | A. しばしば | B. ときどき | C. なし |
| 14 夜、咳で寝られなかったり目覚めることがありますか？ | | | | A. しばしば | B. ときどき | C. なし |
| 15 声がかすれてきましたか（がらがら声, かすれ声など）？ | | | | A. たいへん | B. わずかに | C. なし |

出典：大塚池日本摂食・嚥下リハビリテーション学会誌2002より改編

Aが1つ以上ある→かかりつけ医や訪問看護師などへ相談しましょう(ツールのへ)。
 Bが1つ以上ある→今後も定期的に飲みこみをチェックしましょう。

(スライド 1)

飲み込みチェックシート(ツール①)15項目の症状・兆候がある人の



(スライド 2)

III. 学会等発表実績

論文発表 (学術誌以外も含む)

1. 戸原玄:Opinion3.歯科医による訪問嚥下機能評価・訓練の実際, PDN 通信第 49 号:pp.7, 2014
2. 矢澤正人:新宿ごっくんプロジェクトー地域における摂食嚥下機能支援システムの構築に向けて, Journal of Clinical Rehabilitation, 23(9), 852-861, 2014

学会発表(学会以外の講演会も含む)

1. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第 3 回大分県病院協会栄養部会研修会, ホルトホール, 大分市, 大分県, 2015 年 2 月 28 日
2. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 小田原市保健センター, 小田原市歯科医師会, 小田原市, 神奈川県, 2015 年 2 月 26 日
3. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第 23 回茨城県歯科医学会, 茨城県歯科医師会, 水戸プラザホテル, 水戸市, 茨城県, 2015 年 2 月 22 日
4. Haruka Tohara: Oral Rehabilitation for Dentist, Rehabilitation in swallowing disorders seminar, Dental hospital, Khon Kaen University, Khon Kaen city, Thailand, Feb 18, 2015
5. 戸原玄:口腔ケアや訓練的対応を踏まえた評価の仕方, 嚥下機能評価研修会, 第 9 回 PDN VE セミナー, NPO 法人 PEG ドクターズネットワーク, 石川県地場産業振興センター, 金沢市, 石川県, 2015 年 2 月 15 日
6. 戸原玄:摂食・嚥下障害のアセスメント, 在宅歯科医療推進事業研修会, 熊本県歯科医師会, 熊本歯科衛生士専門学校, 熊本市, 熊本県, 2015 年 2 月 7 日
7. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 広島県歯科医師会館, 広島市, 広島県, 2015 年 1 月 30 日
8. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, メディケアフーズ展 2015, 東京ビッグサイト, 江東区, 東京都, 2015 年 1 月 29 日
9. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 高齢者の食支援を考える会 設立1周年記念摂食嚥下講演会, 高齢者の食支援を考える会・所沢市歯科医師会 食支援ネットワーク委員会, 所沢市保健センター, 所沢市, 埼玉県, 2015 年 1 月 22 日
10. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第 1 回東海摂食栄養フォーラム, 東海HEI和マニア, 今池ガスビル, 名古屋市, 愛知県, 2015 年 1 月 17 日
11. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 平成 26 年度第 2 回摂食嚥下障害支援歯科医師養成研修会, 岐阜県歯科医師会, 岐阜県歯科医師会館, 岐阜市, 岐阜県, 2015 年 1 月 11 日
12. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 平成 26 年度摂食・嚥下・食支援人材育成研修会, 鹿児島県歯科医師会, 鹿児島県歯科医師会館, 大島郡医師会館(サテライト会場), 鹿児島市, 鹿児島県, 2014 年 12 月 21 日
13. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第 6 回高知口腔ケアフォーラムーがん治療をささえる口腔ケアー, 特別講演, 高知大学医学部臨床講義棟第 3 講義室, 南国市, 高知県, 2014 年 12 月 13 日
14. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 摂食嚥下セミナー2014, 岩手医科大学, 盛岡市, 岩手県, 2014 年 12 月 9 日
15. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 医科歯科連携研究会 2014, 東京保険医協会・東京歯科保険医協会・千葉県保険医協会, 東京保険医協会セミナールーム, 新宿区, 東京都, 2014 年 12 月 6 日
16. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 富士見会, 愛媛県歯科医師会館, 松山市, 愛媛県, 2014 年 11 月 29 日
17. 戸原玄:摂食・嚥下のアセスメント, 嚥下内視鏡検査実技・実習コースアドバンスコース, NPO 法人 歯科医療情報推進機構, 新宿 NS ビル, 新宿区, 東京都, 2014 年 11 月 20 日
18. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際ー在宅での対応を考えるー, 歯科学術研究会, 三重県保険医協会, プラザ洞津, 津市, 三重県, 2014 年 11 月 9 日
19. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 愛豊歯科医師会, 東京第一ホテル錦, 名古屋市, 愛知県, 2014 年 11 月 6 日
20. 戸原玄:在宅医療におけるチームアプローチの重要性ー医療連携に基づく基礎知識の整理も含めてー, 平成 26 年度予防・在宅歯科医療等対応教員養成校集会歯科衛生士専任教員講習会 V, 日本歯科大学東京短期大学, 千代田区, 東京都, 2014 年 10 月 25 日
21. 戸原玄:口腔ケアや訓練的対応を踏まえた評価の仕方, 嚥下機能評価研修会・第 4 回 PDN VE セミナー, NPO 法人 PEG ドクターズネットワーク, 仙台国際センター, 仙台市, 宮城県, 2014 年 10 月 12 日
22. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 口腔ケアと摂食嚥下リハビリテーションの基礎から実際, 第 15 回

- NHO 栃木医療センター口腔ケア兼摂食嚥下セミナー,NHP 栃木医療センター地域医療研修センター講堂,NHO 栃木医療センター,宇都宮市,栃木県,2014年9月30日
23. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際～地域を考えた摂食嚥下障害への対応～,緩和ケアチーム,NST 共催第10回東京医科歯科大学 NST セミナー,鈴木彰男記念講堂,東京医科歯科大学,文京区,東京都,2014年9月26日
 24. 矢澤正人:新宿区ごっくんプロジェクトー食べることの支援のまちづくりー,シンポジウム3地域の摂食嚥下リハレベルの向上と行政の関わり,第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会,京王プラザホテル,新宿区,東京都,2014年9月6日
 25. 戸原玄:より良く食べてよりよく生きる,嚥下障害に係る市民公開講座,岡谷病院,岡谷市カノラホール,岡谷市,長野県,2014年8月23日
 26. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際,NST 口腔嚥下・歯科口腔外科特別講演,信州大学医学部歯科口腔外科学,信州大学医学部附属病院,松本市,長野県,2014年8月22日
 27. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際,第4分科会高齢期の生き生きとした食生活,健康生きがい学会第5回大会,弘前医療福祉大学,弘前市,青森県,2014年8月6日
 28. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際,藤枝歯科医師会講演,藤枝市,静岡県,2014年7月17日
 29. 戸原玄:よりよく食べてよりよく生きる,藤枝市市民公開講座,藤枝歯科医師会,藤枝市,静岡県,2014年7月17日
 30. 戸原玄:摂食・嚥下のアセスメント,青森県歯科衛生士会平成26年度第2回生涯研修,青森県歯科衛生士会,青森刊行物産館アスパム,青森市,青森県,2014年7月13日
 31. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際,在宅歯科医療連携推進研修会,富山県歯科医師会,富山国際会議場,富山市,富山県,2014年7月10日
 32. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際,口腔病学会例会,東京医科歯科大学歯学部附属病院特別講堂,文京区,東京都,2014年7月3日
 33. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際,第1回明正会多職種地域交流セミナー,医療法人社団明正会,亀戸文化センター,江東区,東京都,2014年7月2日

IV. 研究成果の刊行物・別刷



歯科医による訪問嚥下機能評価・訓練の実際

戸原玄

「訪問嚥下機能評価」は、在宅で生活する高齢者の嚥下機能を評価し、必要に応じて嚥下訓練を行うことで、嚥下機能の向上を図ることを目的とした取り組みです。歯科医による訪問嚥下機能評価・訓練の実際について、本誌にインタビューを行いました。

訪問嚥下機能評価は、在宅で生活する高齢者の嚥下機能を評価し、必要に応じて嚥下訓練を行うことで、嚥下機能の向上を図ることを目的とした取り組みです。歯科医による訪問嚥下機能評価・訓練の実際について、本誌にインタビューを行いました。

訪問嚥下機能評価は、在宅で生活する高齢者の嚥下機能を評価し、必要に応じて嚥下訓練を行うことで、嚥下機能の向上を図ることを目的とした取り組みです。歯科医による訪問嚥下機能評価・訓練の実際について、本誌にインタビューを行いました。

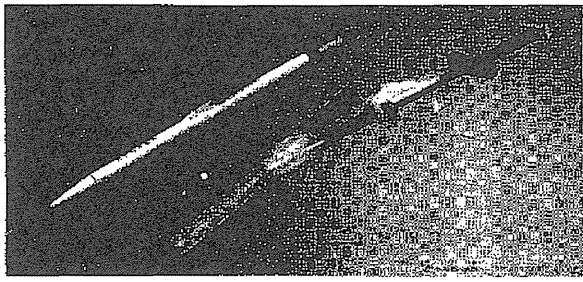
訪問嚥下機能評価は、在宅で生活する高齢者の嚥下機能を評価し、必要に応じて嚥下訓練を行うことで、嚥下機能の向上を図ることを目的とした取り組みです。歯科医による訪問嚥下機能評価・訓練の実際について、本誌にインタビューを行いました。

訪問嚥下機能評価は、在宅で生活する高齢者の嚥下機能を評価し、必要に応じて嚥下訓練を行うことで、嚥下機能の向上を図ることを目的とした取り組みです。歯科医による訪問嚥下機能評価・訓練の実際について、本誌にインタビューを行いました。

訪問嚥下機能評価は、在宅で生活する高齢者の嚥下機能を評価し、必要に応じて嚥下訓練を行うことで、嚥下機能の向上を図ることを目的とした取り組みです。歯科医による訪問嚥下機能評価・訓練の実際について、本誌にインタビューを行いました。

訪問嚥下機能評価は、在宅で生活する高齢者の嚥下機能を評価し、必要に応じて嚥下訓練を行うことで、嚥下機能の向上を図ることを目的とした取り組みです。歯科医による訪問嚥下機能評価・訓練の実際について、本誌にインタビューを行いました。

訪問嚥下機能評価は、在宅で生活する高齢者の嚥下機能を評価し、必要に応じて嚥下訓練を行うことで、嚥下機能の向上を図ることを目的とした取り組みです。歯科医による訪問嚥下機能評価・訓練の実際について、本誌にインタビューを行いました。



OLYMPUS
Your Vision, Our Future

EndoTherapy

「より簡単に」「より安全に」「より優しく」
シースダイレータを用いたIntrodacer変法

Introdacer変法の合併症軽減を目指したシース

- 特殊な構造により、気腫のリスク軽減をサポート
- シースの高により、管内空気の閉れ逃がしが可能
- シースを介したボタンスクリューでの鋭利のリスク軽減をサポート

イデアルPEGキット
IDEAL

株式会社 友友ベーク株式会社
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

株式会社 オリンパス・メディカルシステムズ株式会社
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
www.olympus.com/jp

PEG 株式会社 オリンパス・メディカルシステムズ株式会社
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
www.olympus.com/jp

V. 卷末資料

1. 調査票

A 票

摂食嚥下障害に対する「医療資源」に関するアンケート調査票

下記アンケートに御協力をお願いいたします。

<施設とあなたご自身についてお答えください。>

■ Q1 施設 (SA)

- 病院
- クリニック
- 訪問看護ステーション
- その他

■ Q2 病床 (SA)

- 無床
- 有床

■ Q3 施設名 (FA)

施設名 ()

■ Q4 施設の所在・連絡先

郵便番号 ()

施設の住所 ()

ご担当者のお名前 ()

TEL ()

FAX ()

E-mail ()

施設内所属部署 (診療科目など) ()

■ Q5 ご回答者の職種 (SA)

- 医師
- 歯科医師
- 看護師
- 栄養士
- 保健師
- ケアマネージャー
- その他 ()

■ Q6 貴方の施設には摂食嚥下障害患者がいますか？ (SA)

- 主訴のある患者がいる
- 主訴は無くても疑わしい患者がいる
- 疑わしい患者がいない
- 不明

■ Q7 成人・高齢者の摂食嚥下障害へ対応していますか？ (SA)

- している
- 連携先に紹介
- していない

■ Q8 前問で成人・高齢者の摂食嚥下障害へ対応「している」を選んだ方にお聞きします。

直近1年間において月平均何件くらい対応していますか。それぞれについて数値でお答えください。※ない場合は0件と入力ください。(FA)

外来 _____件

入院 _____件

訪問 _____件

■ Q9 前問で成人・高齢者の摂食嚥下障害への対応で「連携先に紹介」を選んだ方にお聞きします。直近1年間において月平均何件くらい対応していますか。それぞれについて数値でお答えください。※ない場合は0件と入力ください。(FA)

外来 _____件

入院 _____件

訪問 _____件

■ Q10 前問で成人・高齢者の摂食嚥下障害へ対応「していない」を選んだ方にお聞きします。連携先が必要ですか？ (SA)

- 必要
- 不要

■ Q11 小児の摂食嚥下障害へ対応していますか？ (SA)

- している
- 連携先に紹介
- していない

- Q12 前問で小児の摂食嚥下障害へ対応「している」を選んだ方にお聞きします。直近1年間において月平均何件くらい対応していますか。それぞれについて数値でお答えください。※ない場合は0件と入力ください。(FA)

外来 _____ 件

入院 _____ 件

訪問 _____ 件

- Q13 前問で小児の摂食嚥下障害への対応で「連携先に紹介」を選んだ方にお聞きします。直近1年間において月平均何件くらい対応していますか。それぞれについて数値でお答えください。※ない場合は0件と入力ください。(FA)

外来 _____ 件

入院 _____ 件

訪問 _____ 件

- Q14 前問で小児の摂食嚥下障害へ対応「していない」を選んだ方にお聞きします。連携先が必要ですか？(SA)

必要

不要

- Q15 嚥下訓練が施行可能ですか？(SA)

可

否

嚥下訓練が可能な他施設を紹介している

- Q16 前問で嚥下訓練の施行が「可能」を選んだ方にお聞きします。直近1年間において月平均何件くらい対応していますか。それぞれについて数値でお答えください。※ない場合は0件と入力ください。(FA)

外来 _____ 件

入院 _____ 件

訪問 _____ 件

- Q17 嚥下内視鏡検査が施行可能ですか？(SA)

可

否

嚥下内視鏡検査が可能な他施設を紹介している

- Q18 前問で嚥下内視鏡検査の施行が「可能」を選んだ方にお聞きします。直近1年間において月平均何件くらい対応していますか。それぞれについて数値でお答えください。※ない場合は0件と入力ください。(FA)

外来 _____件

入院 _____件

訪問 _____件

- Q19 嚥下造影検査が施行可能ですか？(SA)

可

否

嚥下造影検査が可能な他施設を紹介している

- Q20 前問で嚥下造影検査の施行が「可能」を選んだ方にお聞きします。直近1年間において月平均何件くらい対応していますか。それぞれについて数値でお答えください。※ない場合は0件と入力ください。(FA)

外来 _____件

入院 _____件

- Q21 本アンケートの案内の入手先を教えてください。(媒体はWEB、セミナー、雑誌、メーリングリスト、郵送物、配布物等全てに該当いたします)(SA)

学会(日本摂食嚥下リハビリテーション学会、老年医学会、老年歯科医学会、在宅医学会)

医師会

歯科医師会

医療関連団体(PDN、HDC)

個人

その他()

- Q22 今後、本調査結果を元に摂食嚥下障害に対する施設様のリストを公開予定ですが、摂食嚥下障害への対応が可能とお答えいただいた場合、施設様のお名前と連絡先、また対応可能内容について公開することに同意いただけますでしょうか？(SA)

同意する

同意しない

■ Q23 前問で「同意する」を選んだ方にお聞きします。公開について同意いただけるものを下記よりお選びください。(MA)

- 施設名
- 施設の住所
- ご担当者のお名前
- TEL
- FAX
- E-mail
- 施設内所属部署（診療科目など）
- ご回答者の職種

- 上記すべてに同意する

※ 本アンケート調査は、WEB サイトに回答ページを設けた形式であり、上記はその内容をまとめたものである。

B 票

摂食嚥下障害に対する「有効事例」に関するアンケート

下記アンケートに御協力をお願いいたします。

<施設とあなたご自身についてお答えください。>

■ Q1 施設名 (FA)

施設名 ()

■ Q2 施設の所在・連絡先 (FA)

郵便番号 ()

施設の住所 ()

ご担当者のお名前 ()

TEL ()

FAX ()

E-mail ()

施設内所属部署 (診療科目など) ()

■ Q3 施設 (SA)

病院

クリニック

訪問看護ステーション

介護老人保健施設

特別養護老人ホーム

有料老人ホーム

その他 ()

■ Q4 貴施設では摂食嚥下障害患者がいますか？ (SA)

主訴としている

主訴は無くても疑わしい患者がいる

疑わしい患者がいない

不明

■ Q5 貴施設では摂食嚥下に問題のある患者が退院する際、その患者をフォロー可能な紹介先はありますか？ (MA)

- 病院 (医科)
- 診療所 (医科)
- 診療所 (歯科)
- 訪問看護ステーション
- その他
- ない
- その他 ()

■ Q6 貴施設で摂食嚥下に問題のある患者が退院する際、その患者をフォロー可能な紹介先の件数を教えてください。※数字は半角で入力してください。(FA)

病院 (医科) _____ 件程度 / 月
診療所 (医科) _____ 件程度 / 月
診療所 (歯科) _____ 件程度 / 月
訪問看護ステーション _____ 件程度 / 月
その他 _____ 件程度 / 月

■ Q7 前問で「ない」と答えた場合のみお答えください。フォロー可能な施設の紹介が必要ですか？ (SA)

- 必要
- 不要

■ Q8 貴地域で摂食嚥下や食事内容、摂取方法、栄養状態の問題について多職種連携が取られている取り組みはありますか？ (SA)

- ある
- ない
- 不明

■ Q9 前問で「ある」と答えた場合のみお答えください。どのような連携がとられているかを簡単にご記載いただけますでしょうか？ (FA)

